

平成29年度 制度運用篇

災害に強い地域づくりと危機管理②

開催のご案内

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）では、「災害に強い地域づくりと危機管理②」と題した研修を下記のとおり開催します。

この研修では、災害対策基本法の基本理念に則り、実施する「災害予防」、「災害応急対策」を中心に取り上げ、地震、風水害に対する、地域社会の対応力強化に向けた取組、災害対策本部や避難所の運営、災害支援物資配給の効果的実施などについて学び、市町村職員の対処能力の向上を目指します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催要領

日程	平成30年2月13日（火）～2月21日（水）（9日間）
場所	市町村職員中央研修所（通称：市町村アカデミー）
対象	市区町村職員 中堅職員（※管理職級の受講も可能） 市区町村において、特に希望する場合には、該当しない職員についても申込みの上、受講することができます。
定員	80名
経費	13,050円以内（食費を除く。教材用図書費が別に必要となる場合があります。）
申込期限	平成29年12月5日（火）
申込方法	当研修所ホームページの「研修受講申込」の「電子申込」サイトから申し込んでいただくか、「研修受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵便又はFAXにより送付してください。

※記載内容については、都合により変更となることもあります。あらかじめご了承ください。

会場 及び 問合せ先：市町村職員中央研修所 研修部
〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田1-1
TEL：043-276-3126 FAX：043-276-8484 URL：http://www.jamp.gr.jp

内容と時間

2/13	● 13:30~15:00	受付
火	● 15:30~	オリエンテーション・開講式

2/14	● 9:00~9:25	オリエンテーション
	● 9:25~12:00	防災行政と市町村の責任について（講義） <small>総務省消防庁国民保護・防災部</small>
	内容	災害対策における市町村の役割と責任、課題及び対応など、防災行政全般について学びます。
水	● 12:00~13:00	昼食
	● 13:00~15:35	災害対応力の強化と減災－地震－（講義） <small>九州大学大学院工学研究院社会基盤部門教授 松田 泰治 氏</small>
	内容	熊本地震の被害に関する科学的知見を踏まえた、将来の災害リスク評価について理解を深め、住民、自主防災組織などが、災害リスクをどのように認識すれば、個人や地域の防災意識の向上、取組活性化を含めた災害対応力の強化を図ることができるかなどについて、地震の教訓を交えながら、学びます。
2/15	● 15:50~17:00	課題演習（討議）
	内容	数人の演習班に分かれ、災害に強い地域づくりに当たり、市町村が直面する様々な課題について、自主的な討議を行い、解決策を考えます。

2/15	● 9:00~12:00	災害対応力の強化と減災－風水害－（講義） タイムライン防災とは、減災に向けた新たな視点 <small>東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授、 特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構（CeMI） 環境・防災研究所副所長・地域防災研究センター長 松尾 一郎 氏</small>
	内容	水害現象、被害の見方、水害対応の課題について理解を深め、災害時における、自治体、住民、自主防災組織などの防災活動の連携を図り、被害の最小限化に資する、「タイムライン」の作成方法、訓練手法などを、事例を交えながら、学びます。
	● 12:00~13:00	昼食
木	● 13:00~15:35	災害応急体制の整備（講義） <small>一般財団法人消防防災科学センター研究開発部長兼統括研究員 黒田 洋司 氏</small>
	内容	災害による被害の最小限化を図るため、災害対策本部が、的確かつ迅速な活動する上で必要となる、情報収集、災害予防及び応急対策の方針の作成及び実施など、運営上の留意点のほか、本部設置方法、業務上の心構えなどについて学びます。
	● 15:50~17:00	課題演習（討議）

内容と時間

● 9:00~12:00 防災力の向上と自治体の危機管理（講義）

名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏

内容 地域社会において、災害とどう向き合い、防災力を維持・向上させ、被害を最小化させていくのか、今後の地域社会のあり方とともに、自治体の危機管理について学びます。

● 12:00~13:00 昼食

● 13:00~15:35 防災教育のための手法Ⅰ ～避難所運営訓練(HUG)のノウハウと実践～（講義・実習）

HUG開発者、静岡県地震防災アドバイザー、HUGのわ主宰 倉野 康彦 氏

内容 避難所運営訓練（HUG）の学習を通じて、災害時の避難所の開設、運営時に起こりうる問題やその解決のためのポイント、運営についてのノウハウなどについて学びます。

● 15:50~17:00 課題演習（討議）

2/
16

金

● 9:00~12:00 防災教育のための手法Ⅱ ～災害図上訓練(DIG)のノウハウと実践～（講義・実習）

一般財団法人消防防災科学センター 研究開発部主任研究員 小松 幸夫 氏

内容 災害図上訓練（DIG）の学習を通じて、自らの住む地域の特性を知ることの大切さ、災害対応における情報処理や想像力の重要性、住民主体の災害救助のあり方など、災害に強いコミュニティづくりに欠かせない、防災教育・人材育成について学びます。

● 12:00~13:00 昼食

● 13:00~14:10 防災教育のための手法Ⅱ ～災害図上訓練(DIG)のノウハウと実践～（講義・実習）

一般財団法人消防防災科学センター 研究開発部主任研究員 小松 幸夫 氏

● 14:25~15:35 レポート作成

● 15:50~17:00 課題演習（討議）

2/
19

月

● 9:00~12:00 災害と情報 ～最近の豪雨災害事例から学ぶこと～（講義）

静岡大学防災総合センター教授 牛山 素行 氏

内容 近年の豪雨災害によって発生した人的被害や防災気象情報の現状を踏まえて、地域の災害に関わる特徴を知る重要性、災害に対する住民の認識、これまでの災害時の行政対応からの教訓などについて学びます。

● 12:00~13:00 昼食

● 13:00~17:00 課題演習（発表・講評）

一般財団法人消防防災科学センター 研究開発部主任研究員 小松 幸夫 氏

内容 各班の討議結果を、全員の前で発表用レジュメを用いて順次発表し、質疑応答や意見交換を行います。その後、講師から講評・講義をいただきます。

2/
20

火

● 9:00~11:30 災害支援物資供給の課題と対策（講義）

流通経済大学流通情報学部教授・同大学大学院物流情報学研究科教授 矢野 裕児 氏

内容 過去の災害から、被災者に対する災害支援物資供給の課題を考え、物資集積拠点の確保、支援物資の管理、配送等における民間事業者との連携の確保など、必要な対策について学びます。

● 11:40~ 修了式

2/
21

水